

2022年版環境レポート



発行年月日： 2022 年11月4日



有限
会社

森木組

目次

組織の概要	1
対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	2
環境経営方針	3
環境管理組織体制	4
環境活動への取組の全体概要	5
環境経営目標	6
環境経営活動計画（環境経営計画）	7
環境経営目標の実績 （1）環境経営目標の過去実績（グラフ）	8
環境経営活動計画の取組結果とその評価	9
次年度の取組内容 （1）環境経営目標 （2）環境経営活動計画（環境経営計画）	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並び違反、訴訟等の有無	11
代表者による全体評価と見直しの結果	12

発行日： 2022 年11月4日
発行責任者：環境管理責任者 保木龍一郎

次回発行予定： 2023 年11月頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社森木組

【代表者氏名】 代表取締役 森木正一

【所在地】
本社 高知県吾川郡いの町4972番地2

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 保木龍一郎

連絡先担当者 四宮 柊

連絡先 TEL: 088-892-3609
FAX: 088-893-4797
E-mail: morikigumi@viola.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業

建設業許可

許可番号: 高知県知事許可(特-4)第5657号

許可年月日: 2022年07月19日

建設業の種類: 土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業
石工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業
しゅんせつ工事業 水道施設工事業

産業廃棄物収集運搬業許可番号: 03900060178 (自社のみ)

【事業規模】

設立年月日 1985年03月11日

資本金 2,000万円

◆-----◆		2020 年度	2021 年度	2022 年度
工事件数	(件)	98	75	66
完工高	(百万円)	812	963	589
従業員数	(名)	26	26	26
事業所敷地面積	(㎡)	660	660	660
事業所延べ床面積	(㎡)	162	162	162

従業員数は、8月31日現在

会計年度

前年9月 ~ 当該年8月

2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社森木組（全組織・全活動・全従業員）

本社 高知県吾川郡いの町4972番地2（常駐者：2名）

【レポートの対象期間】

2021 年9月 ～ 2022 年8月

【環境レポートの発行日】

2022 年11月4日

【作成責任者】

環境管理責任者 保木龍一郎

対象と稔持続可能な開発目標 (SDGs) 範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs No.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO ₂ 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO ₂ 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社森木組は高知県吾川郡いの町を中心に、土木工事、建築工事の建設業を行なっています。

事業活動を通じて、心豊か、緑豊か、環境負荷の少ない社会を目指しております。

建設業の事業活動において環境負荷低減を行ない、継続的改善による環境経営を推進し、次世代に豊かな自然環境を引き継いでいくことに努めます。

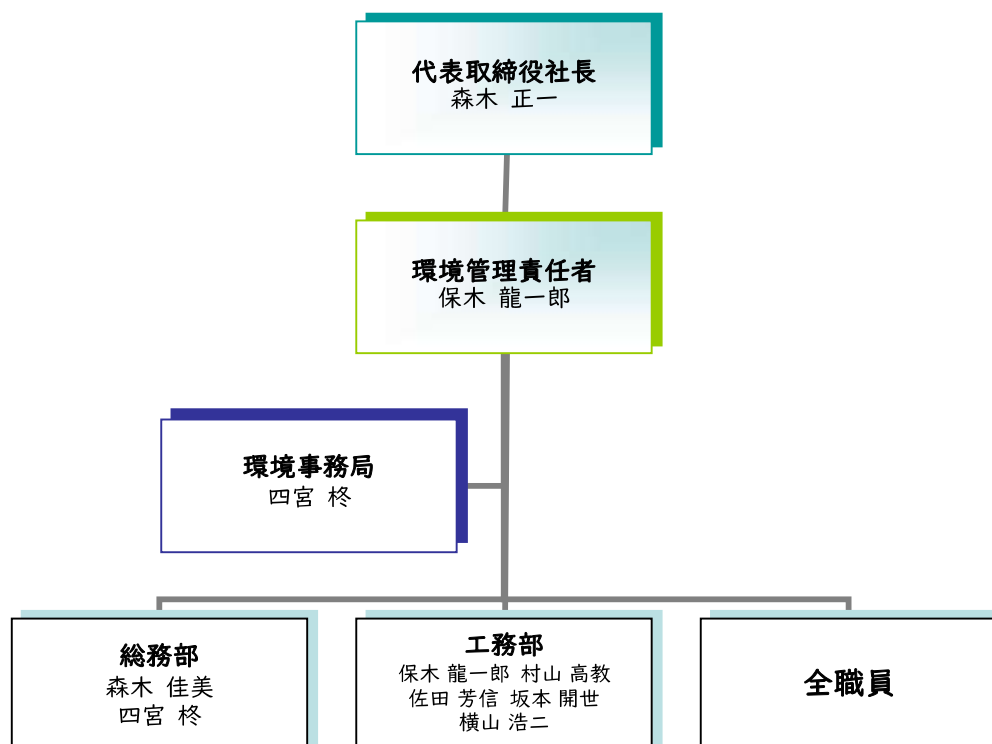
【基本方針】

以下の方針を決めて、積極的に取り組みます。

1. 資材調達から施工までの各段階において、環境負荷の少ない事業活動を推進していきます。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減を行ない、二酸化炭素排出量削減に努めます。
3. 事務所・現場における電力使用料削減を行ない、二酸化炭素排出量削減に努めます。
4. 工事及び事務所における廃棄物発生量を削減し、排出量の削減に努めます。
5. 事務所・現場における水使用量を削減し、排水量の削減に努めます。
6. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を優先します。
7. 環境関連の法令、条例その他を遵守します。
8. 社員に環境教育を行ない、環境に配慮した工事を行なっていきます。
9. この環境経営方針は、全社員に周知徹底し、環境活動レポート等により社外へも公表します。

2018年9月1日
代表取締役 森木正一

4.環境経営組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	△環境経営に関する統括責任 △経営における課題とチャンスの明確化 △環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 △環境管理責任者を任命 △環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 △環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 △代表者による全体評価と見直し実施 △環境経営レポートの承認
環境管理責任者	△環境経営システムの構築、実施、管理 △環境関連法規等の取りまとめ表を承認 △環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 △環境活動の取組結果を代表者へ報告 △環境経営レポートの確認
環境事務局	△環境管理責任者の補佐 △環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 △環境経営目標、環境経営計画、環境管理組織体制原案の作成 △環境活動の実績集計 △環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 △環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 △環境関連の外部コミュニケーションの窓口 △環境経営レポートの作成、公開
部門長	△自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 △自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告 △自部門に係る緊急事態訓練の実施 △自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	△環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 △決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

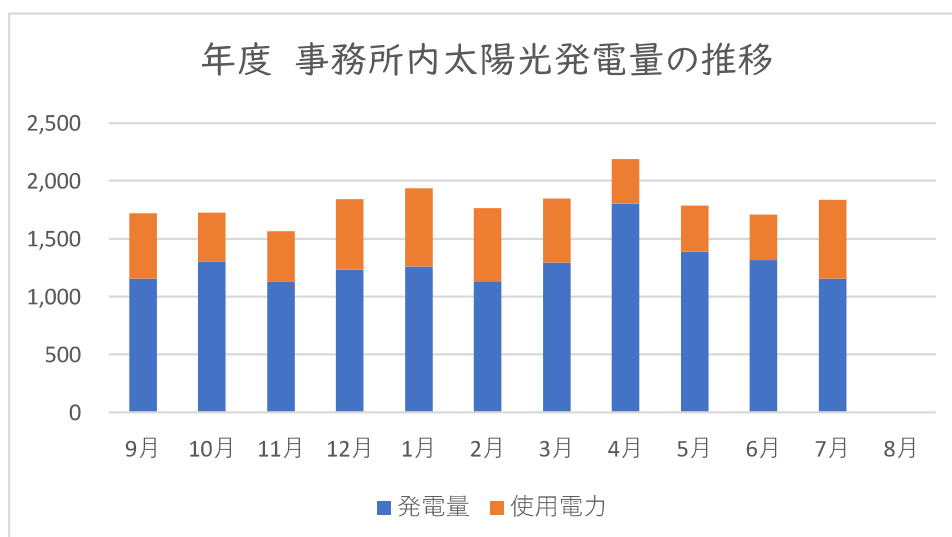
5.環境経営活動への取組の全体概要

当社は「エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷の自己チェックを行ない、環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>



■電力使用量の大幅削減を目指すため、平成23年9月より事務所に太陽光発電を設置しています



年間発電量： 14,169 kWh

売電量： 8,416 kWh (

59%) %

自社利用： 5,753 kWh (

41%) %

6.環境経営目標

(I)単年度目標 (2022 年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年	目標
			2017年度 2016.9-2017.8	2022 年度 2021.9-2022.8
売上高		百万円	835	
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,211	16,500
	原単位	(ℓ/百万円)	14.62	19.76
軽油使用量	総量	(ℓ)	40,498	67,500
	原単位	(ℓ/百万円)	48.50	80.84
灯油使用量	総量	(ℓ)	597	410
	原単位	(ℓ/百万円)	0.71	0.49
LPG使用量	総量	(kg)	12	7
	原単位	(kg/百万円)	0.01	0.01
電力使用量	総量	(kWh)	19,378	72,500
	原単位	(kWh/百万円)	23	87
CO ₂ 排出量	総量	kg-CO ₂	144,041	300,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	172.50	359.28
用水使用量	総量	(m ³)	155	170
	原単位	(m ³ /百万円)	0.19	0.20
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	196	178
	原単位	(kg/百万円)	0.23	0.21
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,570	920
	原単位	(t/百万円)	1.88	1.10
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
グリーン購入	総量	(%)	37	35
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(7件/7件)100	100
環境美化活動	総量	(回)	12	11

*1.電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数（平成30年度実績）（平成30年12月27日公表）の四国電力調整後排出係数0.535（kg-CO₂/kWh）を使用した。

*2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（％）

*3.環境負荷の少ない工事

△環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品）の使用

△型枠、工事看板への間伐材の使用

△濁水防止対策の実施

△請負金額が20,000千円以上の工事が対象

△低騒音、排出ガス対策型重機の使用

(2)中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2017年度 実績(基準年)	2022 年度	2023 年度	2024 年度
				目標		
売上高		百万円	835			
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,211	16,500	16,000	15,500
	原単位	(ℓ/百万円)	14.62	19.76	19.16	18.56
軽油使用量	総量	(ℓ)	40,498	67,500	67,000	66,500
	原単位	(ℓ/百万円)	48.50	80.84	80.24	79.64
灯油使用量	総量	(ℓ)	597	410	400	390
	原単位	(ℓ/百万円)	0.71	0.49	0.48	0.47
LPG使用量	総量	(kg)		7	7	6
	原単位	(kg/百万円)	0.01	0.01	0.01	0.01
電力使用量	総量	(kWh)	19,378	72,500	72,000	71,500
	原単位	(kWh/百万円)	23.21	86.83	86.23	85.63
CO ₂ 排出量	総量	kg-CO ₂	144,041	300,000	295,000	290,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	172.50	359.28	353.29	347.31
用水使用量	総量	(m ³)	155	170	165	160
	原単位	(m ³ /百万円)	0.19	0.20	0.20	0.19
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	196	178	177	176
	原単位	(kg/百万円)	0.23	0.21	0.21	0.21
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,570	920	915	910
	原単位	(t/百万円)	1.88	1.10	1.10	1.09
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	37	35	35	35
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(7件/7件)100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	12	11	11	11

7.環境経営計画

(2022 年度)

期間: 2021 年9月 ～ 2022 年8月

項目		活動内容	担当者	現場	本社
CO ₂ 排出量削減	燃料使用料削減	△無人状態の長い停車時はエンジンを切る △不必要品の積載禁止 △現場に見合った重機の選定 △近距離異動は徒歩にする	土木: 村山高教	○	○
	電力使用量削減	△昼休憩(12:00~13:00)のフロア内完全消灯 △不使用時や無人になるときは最後の人が消灯 △冷暖房の室温管理(夏季28℃・冬季20℃) △太陽光発電を設置し、省エネをする		○	○
用水使用量削減(排水量削減)		△水道使用後の邪打ちの閉め忘れ確認 △「節水」シールを貼り、こまめに節水の徹底 △高圧洗浄機を長時間使用しない	総務部: 森木佳美	-	○
廃棄物削減	一般廃棄物	△両面印刷、集約印刷によるコピー用紙使用料削減 △失敗したコピー用紙はメモ用紙として使用 △不必要なプリントアウトをしない		-	○
	産業廃棄物	△使用材料を過剰に余らせない △再利用できる資材に分別する △分別を行ない再資源化施設へ持ち込み △マニフェストを適正に発行し、管理する	土木: 村山高教	○	-
産業廃棄物再資源化率		△再資源化している業者に依頼する		○	-
グリーン購入		△文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録 △プリンタートナーのリサイクル商品購入	総務部: 森木佳美	○	○
環境美化活動		△ロードボランティアへの参加 △会社周辺清掃活動の実施		○	-
環境負荷の少ない工事 (請負金額が20,000千円以上の工事対象)		△低騒音・排出ガス対策型重機の使用 △型枠・工事看板への間伐材の使用 △濁水防止対策の実施 △環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用 ▲下請業者選定にエコ活動実施会社を選ぶ	△土木: 村山高教 ▲建築: 橋本浩行	○	-

※活動内容の日程:冷暖房時の室温管理は夏季(6~9月)、冬季(12~3月)。これ以外については、通年実施。

8.環境経営目標の実績

項目	総量・原単位	単位	基準年	目標	実績	実績値/目標値 (%)	評価
			2017年度 2016,9-2017,8	2022 年度 2021,9-2022,8	2022 年度 2021,9-2022,8		
売上高		百万円	835		589		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,211	16,500	19,708	119%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	14.62	19.76	33.46	169%	
軽油使用量	総量	(ℓ)	40,498	67,500	50,514	75%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	48.50	80.84	85.76	106%	
灯油使用量	総量	(ℓ)	597	410	994	242%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	0.71	0.49	1.69	344%	
LPG使用量	総量	(kg)	12	7	10	143%	×
	原単位	(kg/百万円)	0.01	0.01	0.02	203%	
電力使用量	総量	(kWh)	19,378	72,500	50,514	70%	○
	原単位	(kWh/百万円)	23.21	86.83	85.76	99%	
CO ₂ 排出量	総量	kg-CO ₂	144,041	300,000	188,272	63%	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	172.50	359.28	319.65	89%	
用水使用量	総量	(m ³)	155	170	180	106%	×
	原単位	(m ³ /百万円)	0.19	0.20	0.31	150%	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	196	178	174	98%	○
	原単位	(kg/百万円)	0.23	0.21	0.30	139%	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,570	920	1,084	118%	×
	原単位	(t/百万円)	1.88	1.10	1.84	167%	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100%	○
グリーン購入	総量	(%)	37	35	29	83%	×
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(7件/7件)100	100	(5件/5件)100	100%	○
環境美化活動	総量	(回)	12	11	13	118%	○

*1.電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数（平成30年度実績）（平成30年12月27日公表）の四国電力調整後排出係数0.535（kg-CO₂/kWh）を使用した。

*2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

*3.環境負荷の少ない工事

△環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用

△型枠、工事看板への間伐材の使用

△濁水防止対策の実施

△請負金額が20,000千円以上の工事が対象

△低騒音、排出ガス対策型重機の使用

*4.評価は『○』『×』で評価する

＜環境経営目標未達成等理由＞ ガソリン使用量:使用量の多い工事の受注があったため増加 灯油使用量:使用量の多い工事の受注があったため増加 LPG使用量:洗車での使用があったため増加 産業廃棄物排出量:排出量の多い工事があったため増加 グリーン購入:各現場での購入において、環境商品対象外のものが多くなり、比率が減少		用水使用量:洗車での使用があったため増加
---	--	-----------------------------

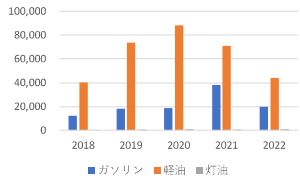
＜過去の実績＞

項目	総量・原単位	単位	2017年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
			実績 (基準年)	実績				
売上高		百万円	835	514	752	812	963	589
燃料使用量								
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,211	16,907	18,358	18,675	17,871	19,708
	原単位	(ℓ/百万円)	14.62	32.89	24.41	23.00	18.56	33.46
軽油使用量	総量	(ℓ)	40,498	32,855	73,479	88,009	70,744	50,514
	原単位	(ℓ/百万円)	48.50	63.92	97.71	108.39	73.46	85.76
灯油使用量	総量	(ℓ)	597	278	472	1,120	422	994
	原単位	(ℓ/百万円)	0.71	0.54	0.63	1.38	0.44	1.69
LPG使用量	総量	(kg)	12	9	15	22	8	10
	原単位	(kg/百万円)	0.01	0.02	0.02	0.03	0.01	0.02
電力使用量	総量	(kWh)	19,378	54,286	33,672	80,044	62,844	50,514
	原単位	(kWh/百万円)	23.21	105.61	44.78	98.58	65.26	85.76
CO ₂ 排出量	総量	kg-CO ₂	144,041	148,287	251,401	316,067	258,676	188,272
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	172.50	288.50	334.31	389.25	268.61	319.65
用水使用量	総量	(m ³)	155	145	446	131	179	180
	原単位	(m ³ /百万円)	0.19	0.28	0.59	0.16	0.19	0.31
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	196	183	181	181	179	174
	原単位	(kg/百万円)	0.23	0.36	0.24	0.22	0.19	0.30
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,570	1,526	2,480	1,841	967	1,084
	原単位	(t/百万円)	1.88	2.97	3.30	2.27	1.00	1.84
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	99	100	100
グリーン購入	総量	(%)	37	45	36	32	30	29
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(7件/7件)100	(7件/7件)100	(8件/8件)100	(7件/7件)100	(8件/8件)100	(5件/5件)100
環境美化活動	総量	(回)	12	12	12	8	11	13

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ/年

年度	ガソリン	軽油	灯油
2018	12,211	40,498	597
2019	18,358	73,479	472
2020	18,675	88,009	1,120
2021	38,161	70,744	422
2022	19,708	43,807	994

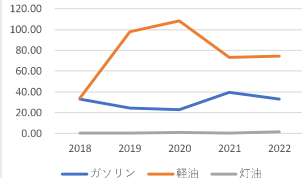
燃料使用量（総量）



燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ/百万円

年度	ガソリン	軽油	灯油
2018	33.00	34.00	0.50
2019	24.41	97.71	0.63
2020	23.00	108.38	1.38
2021	39.63	73.46	0.44
2022	33.46	74.38	1.69

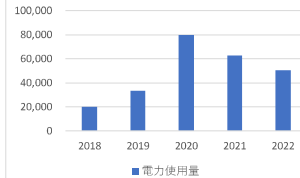
燃料使用量（原単位）



電力使用量（総量）
単位：kWh/年

年度	電力使用量
2018	19,897
2019	33,672
2020	80,044
2021	62,844
2022	50,514

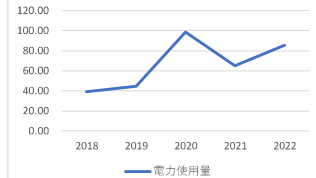
電力使用量（総量）



電力使用量（原単位）
単位：kWh/百万円

年度	電力使用量
2018	39.00
2019	44.78
2020	98.58
2021	65.26
2022	85.76

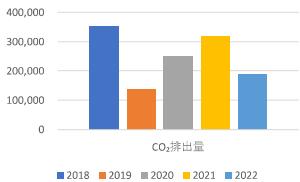
電力使用量（原単位）



CO₂排出量（総量）
単位：t-CO₂

年度	CO ₂ 排出量
2018	352,918
2019	134,291
2020	251,401
2021	316,067
2022	188,272

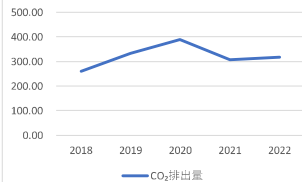
CO₂排出量（総量）



CO₂排出量（原単位）
単位：t-CO₂

年度	CO ₂ 排出量
2018	261.00
2019	334.31
2020	389.25
2021	307.55
2022	318.36

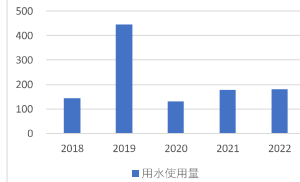
CO₂排出量（原単位）



用水使用量（総量）
単位：m³

年度	用水使用量
2018	145
2019	446
2020	131
2021	179
2022	180

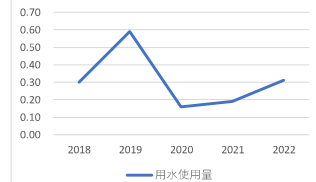
用水使用量（総量）



用水使用量（原単位）
単位：m³/百万円

年度	用水使用量
2018	0.30
2019	0.59
2020	0.16
2021	0.19
2022	0.31

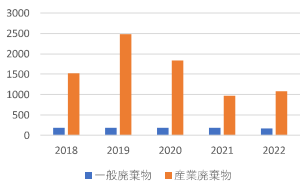
用水使用量（原単位）



廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）
単位：t/年（一般廃棄物）
単位：t/年（産業廃棄物）

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
2018	183	1528.30
2019	181	2480.00
2020	181	1841.00
2021	179	966.86
2022	174	1084.11

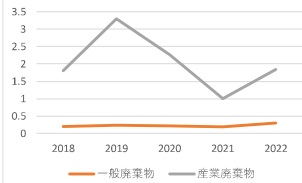
廃棄物排出量（総量）



廃棄物排出量（原単位：一般廃棄物、産業廃棄物）
単位：t/百万円（一般廃棄物）
単位：t/百万円（産業廃棄物）

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
2018	0.2	1.80
2019	0.24	3.30
2020	0.22	2.27
2021	0.19	1.00
2022	0.3	1.84

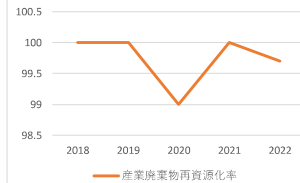
廃棄物排出量（原単位）



産業廃棄物再資源化率
単位：%

年度	産業廃棄物再資源化率
2018	100
2019	100
2020	99
2021	100
2022	99.7

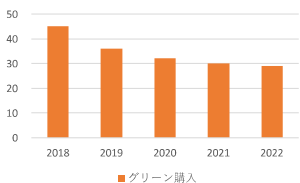
産業廃棄物再資源化率（%）



グリーン購入
単位：%

年度	グリーン購入
2018	45
2019	36
2020	32
2021	30
2022	29

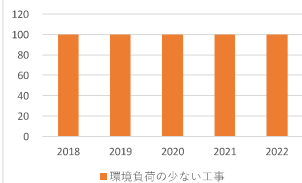
グリーン購入（%）



環境負荷の少ない工事
単位：%

年度	環境負荷の少ない工事
2018	100
2019	100
2020	100
2021	100
2022	100

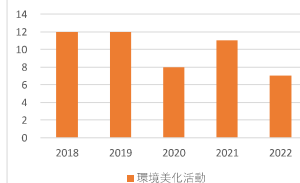
環境負荷の少ない工事（%）



環境美化活動
単位：回

年度	環境美化活動
2018	12
2019	12
2020	8
2021	11
2022	7

環境美化活動（回）



9.環境経営計画の取組結果とその評価

期間:2021年9月～2022年8月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量削減	燃料使用料削減	△無人状態の長い停車時はエンジンを切る △不必要品の積載禁止 △現場に見合った重機の選定 △近距離異動は徒歩にする	▲車輛・重機のアイドリングストップを実施した ▲不必要品を積み込んだままにしない取組ができた ▲適切な重機を選択をした ▲運転経路の最短距離を選定した	◎よくできた ◎よくできた ◎よくできた ◎よくできた	継続
	電力使用量削減	△昼休憩(12:00～13:00)のフロア内完全消灯 △不使用時や無人になるときは最後の人が消灯 △冷暖房の室温管理(夏季28℃・冬季20℃) △太陽光発電を設置し、省エネをする	▲昼休憩(12:00～13:00)のフロア内完全消灯した ▲不使用時や無人になる時は最後の人が消灯した ▲冷暖房の室温管理(夏季28℃・冬季20℃)ができた ▲太陽光発電を設置、省エネをした	◎よくできた ◎よくできた ◎よくできた ◎よくできた	継続
用水使用量削減(排水量削減)		△水道使用後の邪打ちの閉め忘れ確認 △「節水」シールを貼り、こまめに節水の徹底 △高圧洗浄機を長時間使用しない	▲水道使用後の蛇口の閉め忘れ確認できた ▲「節水」シールを貼り、こまめな節水の徹底をした ▲高圧洗浄機を長時間使用しなかった	◎よくできた ◎よくできた ◎よくできた	継続
廃棄物削減	一般廃棄物	△両面印刷、集約印刷によるコピー用紙使用料削減 △失敗したコピー用紙はメモ用紙として使用 △不必要なプリントアウトをしない	▲両面印刷集約印刷によるコピー用紙使用量を削減できた ▲失敗したコピー用紙はメモ用紙として利用した ▲不必要なプリントアウトをしない取組ができた	◎よくできた ◎よくできた ○ある程度できた	継続
	産業廃棄物	△使用材料を過剰に余らせない △再利用できる資材に分別する △分別を行ない再資源化施設へ持ち込み △マニフェストを適正に発行し、管理する	▲使用材料を過剰に余らせなかった ▲再利用できる資材に分別できた ▲分別を行ない、再資源化施設へ持ち込むことができた ▲マニフェストを適正に発行し、管理できた	○ある程度できた ○ある程度できた ○ある程度できた ◎よくできた	継続
産業廃棄物再資源化率		△再資源化している業者に依頼する	▲再資源化している業者に依頼する取組ができた	◎よくできた	継続
グリーン購入		△文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録 △プリンタートナーのリサイクル商品購入	▲文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録する取組ができた ▲プリンタートナーのリサイクル商品を購入した	○ある程度できた ◎よくできた	継続
環境美化活動		△ロードボランティアへの参加 △会社周辺清掃活動の実施	▲ロードボランティアへの参加ができた ▲会社周辺清掃活動の実施ができた	○ある程度できた ○ある程度できた	継続
環境負荷の少ない工事		△低騒音・排出ガス対策型重機の使用 △型枠・工事看板への間伐材の使用 △濁水防止対策の実施 △下請業者選定にエコ活動実施会社を選ぶ	▲低騒音・排出ガス対策型重機を使用できた ▲型枠・工事看板への間伐材を使用できた ▲濁水防止対策の実施ができた ▲下請業者選定にエコ活動実施会社を選んだ	◎よくできた ◎よくできた ◎よくできた ◎よくできた	継続

10.次年度の取組内容

環境経営目標

(I)単年度目標 (2023 年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年	目標
			2022年度 2021.9-2022.8	2023 年度 2022.9-2023.8
売上高		百万円	589	
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,708	18,000
	原単位	(ℓ/百万円)	33.46	30.56
軽油使用量	総量	(ℓ)	43,807	42,000
	原単位	(ℓ/百万円)	74.38	71.31
灯油使用量	総量	(ℓ)	994	850
	原単位	(ℓ/百万円)	1.69	1.44
LPG使用量	総量	(kg)	10	8
	原単位	(kg/百万円)	0.02	0.01
電力使用量	総量	(kWh)	50,514	49,000
	原単位	(kWh/百万円)	85.76	83.19
CO ₂ 排出量	総量	kg-CO ₂	188,253	180,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	319.61	305.60
用水使用量	総量	(m ³)	180	165
	原単位	(m ³ /百万円)	0.31	0.28
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	174	174
	原単位	(kg/百万円)	0.30	0.30
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,084	910
	原単位	(t/百万円)	1.84	1.54
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
グリーン購入	総量	(%)	29	35
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	(5件/5件)100	100
環境美化活動	総量	(回)	13	11

- ※1.電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(令和3年度実績)(令和5年5月26日公表)の四国電力調整後排出係数0.532(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- ※2.グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- ※3.環境負荷の少ない工事

△環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用

△型枠、工事看板への間伐材の使用

△型枠、工事看板への間伐材の使用

△低騒音、排出ガス対策型重機の使用

△濁水防止対策の実施

(2)中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2022年度 実績（基準年）	2023 年度	2024 年度	2025 年度
				目標		
売上高		百万円	589			
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	19,708	18,000	17,500	17,000
	原単位	（ℓ/百万円）	33.46	30.56	29.71	28.86
軽油使用量	総量	（ℓ）	43,807	42,000	41,500	41,000
	原単位	（ℓ/百万円）	74.38	71.31	70.46	69.61
灯油使用量	総量	（ℓ）	994	850	800	750
	原単位	（ℓ/百万円）	1.69	1.44	1.36	1.27
LPG使用量	総量	（kg）	10	8	8	8
	原単位	（kg/百万円）	0.02	0.01	0.01	0.01
電力使用量	総量	（kWh）	50,514	49,000	48,500	48,000
	原単位	（kWh/百万円）	85.76	83.19	82.34	81.49
CO ₂ 排出量	総量	kg-CO ₂	188,253	180,000	175,000	170,000
	原単位	（kg-CO ₂ /百万円）	319.61	305.60	297.11	288.62
用水使用量	総量	（m ³ ）	180	165	165	160
	原単位	（m ³ /百万円）	0.31	0.28	0.28	0.27
一般廃棄物排出量	総量	（kg）	174	174	173	172
	原単位	（kg/百万円）	0.30	0.30	0.29	0.29
産業廃棄物排出量	総量	（t）	1,084	910	900	890
	原単位	（t/百万円）	1.84	1.54	1.53	1.51
産業廃棄物再資源化率	総量	（％）	100	100	100	100
グリーン購入	総量	（％）	29	35	35	35
環境負荷の少ない工事	総量	（％）	(5件/5件)100	100	100	100
環境美化活動	総量	（回）	13	11	11	11

※環境経営目標の見直し:従来の目標に替え、2022年度を基準年とする単年度目標(2023年度)、中長期目標(2023~2025年度)を策定

10.次年度の取組内容

(2) 環境経営計画

(2023 年度)
期間: 2022 年9月 ~ 2023 年8月

項目		活動内容	担当者	現場	本社
CO ₂ 排出量削減	燃料使用料削減	△無人状態の長い停車時はエンジンを切る △不必要品の積載禁止 △現場に見合った重機の選定 △近距離異動は徒歩にする	土木: 村山高教	○	○
	電力使用量削減	△昼休憩(12:00~13:00)のフロア内完全消灯 △不使用時や無人になるときは最後の人が消灯 △冷暖房の室温管理(夏季28℃・冬季20℃) △太陽光発電を設置し、省エネをする	総務部: 森木佳美	○	○
用水使用量削減(排水量削減)		△水道使用後の邪打ちの閉め忘れ確認 △「節水」シールを貼り、こまめに節水の徹底 △高圧洗浄機を長時間使用しない		-	○
廃棄物削減	一般廃棄物	△両面印刷、集約印刷によるコピー用紙使用料削減 △失敗したコピー用紙はメモ用紙として使用 △不必要なプリントアウトをしない		-	○
	産業廃棄物	△使用材料を過剰に余らせない △再利用できる資材に分別する △分別を行ない再資源化施設へ持ち込み △マニフェストを適正に発行し、管理する	土木: 村山高教	○	-
産業廃棄物再資源化率		△再資源化している業者に依頼する		○	-
グリーン購入		△文房具類はグリーン購入該当商品を定番登録 △プリンタートナーのリサイクル商品購入	総務部: 森木佳美	○	○
環境美化活動		△ロードボランティアへの参加 △会社周辺清掃活動の実施	△土木: 村山高教 ▲建築: 橋本浩行	○	-
環境負荷の少ない工事 (請負金額が20,000千円以上の工事対象)		△低騒音・排出ガス対策型重機の使用 △型枠・工事看板への間伐材の使用 △濁水防止対策の実施 △環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品)の使用 ▲下請業者選定にエコ活動実施会社を選ぶ		○	-

※活動内容の日程:冷暖房時の室温管理は夏季(6~9月)、冬季(12~3月)。これ以外については、通年実施。

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 △事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2022/9/21
	第12条	事業者の処理 △産業廃棄物が運搬されるまでの間、産業廃棄物保管基準に従い、生活環境の保全上支障のないようにこれを保管する。 △産業廃棄物処分業者に委託契約 委託基準の遵守（産業廃棄物収集運搬・処分業者との契約書、許可書確認）	必要時		○	2022/9/21
	第12条 第10項及び第11項	多量排出事業者（年間1,000㌧以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	1回/年		○	2022/9/21
	第12条の3	産業廃棄物管理表（マニフェスト）の交付・保存	新規交付時 又は月末		○	2022/9/21
	第12条の3 第7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	1回/年 6月迄		○	2022/9/21
	第14条 第1項	産業廃棄物の収集又は運搬を業として行なおうとする者は、当該業を行なおうとする区域を管轄する都道府県知事の許可申請が必要	必要時		○	2022/9/21
	第14条第2項	収集運搬業許可は、5年ごとに更新の許可申請が必要			○	2022/9/21
	第14条 第12項	産業廃棄物処理基準の遵守 【収集運搬基準・積替・保管基準・中間処理・再生基準、処理施設の技術上の基準（構造基準・維持管理基準）】	必要時		○	2022/9/21
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日までに市町村長に届出）	必要時	現場監督	○	2022/9/21
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日までに市町村長に届出）	必要時		○	2022/9/21
大気汚染防止法	第18条の15	解体随工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査をし、発注者へ調査結果を書面で説明すると共に、その結果等を解体等工事場所へ提示。調査結果は知事にも報告。	調査実施時		○	2022/9/21
グリーン購入法	第5条	できる限り環境物品等を選択するよう努める	購入時		○	2022/9/21
建設リサイクル法	第5条	廃棄物発生等の抑制、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材の使用	契約時		○	2022/9/21
	第18条	発注者へ特定建設資材の再資源化等が完了したときは書面で報告。再資源化等の実施状況の記録の作成・保存。	工事完了時		○	2022/9/21
高知県環境基本条例	第6条	自然環境を適正に保存するため適切な事業活動をする	必要時	環境管理責任者	○	2022/9/21
いの町廃棄物の減量及び 適正処理等に関する条例	第4条	事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない	必要時		○	2022/9/21
仁淀川の清流保存に 関する条例	第6条	事業者は仁淀川の清流を守るため、常に最大限の努力をすとともに、町長が実施する施策に協力しなければならない	必要時		○	2022/9/21
フロン排出抑制法	第16条 第1項	管理者の判断基準に基づく措置の実施 ・簡易定期点検：3ヶ月に1回以上、定期点検：1年に1回以上（専門業者） ・点検、整備の記録 ・交付される充填（回収）証明書の管理（漏えい量算定に利用）	必要時		○	2022/9/21
FIT法	第6条第7項	適切な保守点検及び維持管理を行なうこと	必要時		○	2022/9/21
建築基準法	第28条の2	△石綿含有建材の使用禁止 △クロロビリホス及びホルムアルデヒドを含む建築材料を使用する場合においては、建築基準法施工例で定める技術的基準に適合するものとする	必要時	現場監督	○	2022/9/21
いの町ゴミ捨て及び ふん害防止条例	第5条	事業者は、空き缶等ごみの散乱防止並びに空き缶等の再資源化の促進をはかるために、消費者に対する意識の啓発を図るとともに、その事業活動により地域の美観を損なうことのないように回収容器の設置、その他必要な措置を講じ、散乱防止に努めなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2022/9/21
環境基本法	第8条第1項	事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を行なうに当たっては、これに伴って生ずる煤煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講ずる責務を有する	必要時		○	2022/9/21
地球温暖化対策の推進に 関する法律	第5条	事業者は、その事業活動に関し、温室効果ガスの排出の量の削減等のための措置（他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与するための措置を含む）を講ずるように努めるとともに、国及び地方公共団体が実施する温室効果ガスの排出の量の削減等のための施策に協力しなければならない	必要時		○	2022/9/21
道路交通法施行規則	第9条の8	安全運転管理者等の選任を必要とする自動車の台数 △乗車定員が11人以上は1台。その他は45台 △大型自動二輪車1台又は普通自動二輪車1台はそれぞれ0.5台と計算			○	2022/9/21
	第9条の9	安全運転管理者等の要件 △20歳（副安全運転管理者が置かれる場合30歳）以上の者 △自動車の運転の管理が2年（公安委員会の教習を修了した者は1年）以上実務経験を有する者または同等以上の能力を有すると公安委員会が認定した者			○	2022/9/21
	第9条の10	安全運転管理者の業務	必要時		○	2022/9/21
		一、運転者の適正、及び知識の状況を把握するための措置を講ずること			○	2022/9/21
		二、最高速度違反行為、過積載運転、過労運転の防止			○	2022/9/21
		三、長距離又は夜間の運転時に疲労等により安全な運転を継続することができない場合の運転者交替			○	2022/9/21
		四、異常な気象、天災等により安全運転に支障が出る場合、運転者に必要な指示、安全な運転の措置を講ずる			○	2022/9/21
		五、△車輛の点検実施 △運転者の健康管理			○	2022/9/21
		六、運転者の酒気帯びの確認			○	2022/9/21
		七、前号の確認の内容を記録し、及びその記録を一年間保存する			○	2022/9/21
消防法	第12条第1項	製造所、貯蔵所又は取扱所の所有者、管理者又は占有者は、製造所、貯蔵所又は取扱所の位置、構造及び設備が基準に適合するように維持しなければならない	必要時	環境管理責任者	○	2022/9/21
	第11条	危険物製造所・貯蔵所・取扱所の設置（変更）に際して許可申請			○	2022/9/21
仁淀消防組合 火災予防条例	第30条～第31条の9 第46条	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱の技術上の基準の遵守 指定数量未満の危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱（廃止も含む）の届出等	必要時	環境管理責任者	○	2022/9/21

(2)環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2021年9月より2022年8月まで、環境関連法規等への違反はありません。なお、関係当局による違反の指摘や訴訟、さらには、外部からの苦情・要望等は過去3年間ありません。

作成日：2022年11月04日

代表者による全体の評価と見直しの結果

☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2021年9月より2022年8月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2021年9月より2022年8月まで、問題点の是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 なし <改善提案>				【環境経営方針】 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 【環境経営目標・環境経営計画・環境関知組織体制】 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 【その他】 変更の必要性: ☐ 有 ☒ 無 【統括】(環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載) エコアクション21のシステムとして有効に機能している。今後も健全な環境パフォーマンスを達成できるよう、基本的な要件は変えず継続し、自らの事業活動に適合した積極的な取り組みをしていく。
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	
1.ガソリンの削減	×	○	継続的に取り組む	
2.軽油の削減	○	○	達成できた	
3.灯油の削減	×	○	継続的に取り組む	
4.ガス使用量の削減	×	○	継続的に取り組む	
5.電力の削減	○	○	達成できた	
6.CO ₂ 排出の削減	○	○	達成できた	
7.用水使用量の削減	×	○	継続的に取り組む	
8.一般廃棄物排出量の削減	○	○	達成できた	
9.産業廃棄物排出量の削減	×	○	継続的に取り組む	
10.産業廃棄物再資源化率	○	○	達成できた	
11.グリーン購入	×	○	継続的に取り組む	
12.環境負荷の少ない工事	○	○	達成できた	
13.環境美化活動	○	○	達成できた	
<改善提案>				
【周囲の変化の状況】				
①外部コミュニケーション記録より なし				
②環境関連法規制等の動向他 なし				
<改善提案>				
代表者が自ら得た情報				
なし				